

2019年 4月9日発行

国民平和進行 News

2019年国民平和進行
大阪実行委員会
☎542-0012
大阪市中央区谷町 7-3-4
新谷町第三ビル 210
大阪原水協気付
☎06-6765-2552 NO.2

平和行進に一人でも多くの方が参加されることを呼びかけます

1958年6月に始まった平和行進は、いまから62年前、「核武装阻止・民主主義擁護のために」と一人の若者が被爆地広島平和公園から原水爆禁止世界大会が開催される東京までむけて、雨の日も、風の日も、夏の暑さの中1000キロの道のりを歩きとおしました。「広島・長崎を繰り返さない」の平和の願いは市民の共感を広げ、数十万人が行進に加わりました。

新たに核開発が行われて中、世界は一日も早い「核兵器禁止条約」の成立をめざしています。

「ヒバクシャ国際署名」を集め、平和行進をみんなの力で成功させましょう。

トランプ大統領の中距離核戦力全廃条約(IMF)離脱の影響は…核使用の恐れ…核兵器禁止条約の流れに逆行

IMF離脱を発言したトランプ大統領は「核兵器を戦略の基盤」と位置づけ、使える核兵器を開発、核兵器を使わない攻撃にも核で反撃する可能性を示唆。新聞は「トランプ氏、核なき世界くつつがえす」と報道。

それに対しプーチン大統領は「中型ミサイルがロシアにとって脅威となる欧州に配備された場合、ミサイルの発射基地だけでなく、ミサイルの使用を決定する中心にも対抗せざるを得ない」と発言し、「ミサイル米本土も標的」と新聞は報道しました。

国連安全保障理事会の事務次長は「核使用の恐れはかつてなく高まっている」と、中距離核戦略全廃条約の破棄などにより、米国、ロシアが築いてきた軍縮・軍備体制が崩壊に向かいつつある状況に危機感を示しています。

実行委員会からのお願い

今年で62回目となる国民平和進行。様々な悪政を強行してきた安倍政権を終わらせるための参議院選挙がたたかわれている中での行進となるため、例年より早めの日程で諸準備を進めたいと考えています。5月末までには、各地域での実行委員会、打ち合わせ会議などを開催していただき、平和進行成功にむけた準備をよろしく願います。

会議の日程をお知らせいただきましたら、可能な限り事務局から参加します。



宣伝終了後の集合写真(19.4.9)

ひとりで1時間に17筆を集める女性 性は天王寺平和委員会所属

晴天の下、4月9日に行われた恒例の6・9行動。近鉄上本町駅前で行われました。非核の政府、大阪平和委員会、天王寺平和委員会、大阪原水協の仲間12人が集まり、1時間で68筆、カンパ1100円が集まりました。順番にマイクを回し、訴えの途中で平和の歌も出るなどにぎやかな宣伝となり、凄腕の女性は17筆を集めました。